

南区区ビジョンまちづくり計画第3次実施計画の平成31年度進捗状況について

■第3次実施計画（H31年度～R2年度）について

- ・第3次実施計画は平成31・令和2年度の2年間で社会状況の急激な変化に対応しながら、区が重点的に取り組む事項を掲載しています。
- ・各取組の工程や数値目標を設定し、平成31年度の評価を行います。

■平成31年度取り組み実施状況

（ ）内は第2次実施計画による平成30年度数値

目指す区のすがた	まちづくりの方針	取り組み数	取り組み内容数	評価		
				達成	概ね達成	未達成
I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち	1 安心して、快適に暮らすまちづくり	15	31 (31)	27 (28)	2 (3)	2 (0)
	2 誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり	17	27 (28)	14 (24)	12 (3)	1 (1)
	3 区民や地域が主役となるまちづくり	6	15 (15)	15 (15)	0 (0)	0 (0)
II 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち	4 交通の利便性が高いまちづくり	6	12 (13)	10 (12)	2 (1)	0 (0)
III 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち	5 活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり	11	16 (20)	9 (13)	3 (6)	4 (1)
	6 いきいきと働けるまちづくり	5	13 (13)	10 (12)	0 (1)	3 (0)
IV 大凧が舞い、獅子が跳ね、ルレクチエが実るまち	7 にぎわいと多彩な交流のまちづくり	5	9 (9)	6 (7)	3 (2)	0 (0)
	計	65	123 (129)	91 (111)	22 (16)	10 (2)
				74.0%	17.9%	8.1%

※取り組み数、取り組み内容数は重複を含む

基本方針に基づく各取り組みに対する評価は「達成」、「概ね達成」が91.9%であり、方針に基づくまちづくりを推進したと考えます。

平成31年度 南区区ビジョンまちづくり計画 第3次実施計画(1年目)進捗状況

I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち

1 安心して、快適に暮らすまちづくり

(1) 減災に向けたまちづくり

近年全国各地で、大規模地震や豪雨など自然災害が頻発しています。災害から住民自らが命を守り、災害発生時は住民同士が助け合う体制を構築するなど、地域の防災力を高め、区民と行政が共に減災に向けたまちづくりを進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
1	ア 自主防災組織の育成・強化	自主防災訓練の実施	自主防災訓練助成の有無に関わらず、全ての自主防災会23組織で防災訓練を実施	区内自主防災組織23組織中22組織で自主防災訓練を実施 【新型コロナウイルス感染症拡大の影響あり】	概ね達成	地域総務課
		防災行政無線の運用	無線テストの実施 年1回(南区独自)	無線テストの実施 年1回	達成	地域総務課
2	イ 防災意識の醸成	南区総合防災訓練の実施	参加者数 3,500人	参加者数 3,902人	達成	地域総務課
		避難行動要支援者に対する支援	検証・新規名簿登録者への 安否確認シール等の配付	新規名簿登録者分の安否確認シールを配付(避難行動要支援者R1.12.1現在 同意者名簿登録者 1,059人)	達成	地域総務課
		避難所毎の避難所運営方法等の検討	・避難所運営検討委員会の現地での開催 年1回 (避難所運営方法の検討) ・地域、施設管理者、避難所、指名職員によるマニュアル見直し	避難所運営検討委員会の現地での開催 年1回	達成	地域総務課
		防災セミナーの実施	防災セミナー 年1回	準備はするも新型コロナウイルスの影響で中止 (R2.3.12開催計画) 【新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止】	未達成	地域総務課
		防災教室の実施	・防災教室 区内6中学校で実施 ・高校生防災ボランティア講座の実施 年2回	・区内中学校全6校で実施 ・白根高校の3年生及び1・2年生を対象に各1回(計2回)防災ボランティア講座を実施	達成	地域総務課

(2) 水害に対する安全の確保

水害から市民の生命と財産を守るため、信濃川水系河川整備計画に基づく信濃川の河道掘削、中ノロ川の河道掘削及び堤防整備を促進します。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
3	ア 信濃川や中ノロ川の河道掘削と中ノロ川の堤防整備の促進	中ノロ川の河道掘削工事及び堤防かさ上げ工事について、地元と県との調整	県と進捗確認・今後の工事計画などを話し合う会議を行う 年4回以上	・事業調整会議 2回 ・地元説明会 2回 ・用地取得協議 2回 ・負担金協定協議 1回	達成	建設課
		豪雨時に河川堤防道路及び法面の点検を実施	・豪雨時は緊急点検を実施し、異常発見時は国・県への情報提供を行う ・国・県との合同点検を実施する 年1回	・定期点検 1回 ・豪雨時の緊急点検実施と異常発見時の河川管理者への情報提供	達成	建設課
4	イ 中ノロ川の国による管理直轄化	中ノロ川の治水安全度が向上するよう、国による信濃川との一体的な管理直轄化を要望	国による信濃川との一体的な管理直轄化を、毎年継続して要望を行う 国1回、県1回	・「国の施策・予算に対する提案・要望」を国に提出 ・「県の施策・予算編成に対する河川・海岸・砂防事業要望書」を県に提出	達成	建設課

(3) 都市基盤の強化による安心・安全なまちづくり

幹線道路の整備を進め、各地域拠点間の移動時間の短縮を図るとともに、信濃川と中ノロ川に架かる老朽化が進行している橋りょうの長寿命化及び架け替えの検討を進め、災害時の緊急輸送道路の確保など防災機能強化を図ります。また、市民の安心・安全な暮らしを守るため、市街地の浸水対策を進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
5	ア 幹線道路の適正な維持管理	国道及び主要市道の日々の道路パトロールを実施し、補修・修繕を行う	・通常パトロールを週4日実施 ・夜間パトロールを週1回実施 ・橋梁パトロールを年4回実施 ・歩道パトロールを年2回実施	・通常パトロールを週4日実施 ・夜間パトロールを週1回実施 ・橋梁パトロールを年4回実施 (市道各橋梁2回、国道各橋梁2回) ・歩道パトロールを年2回実施 (指定路線を2回に分けて実施)	達成	建設課
		定期的な工事発注状況の確認と予算執行管理を実施しながら、積極的に上半期の工事発注を行う	上半期の工事発注率(発注件数÷当初発注予定件数)75%以上	上半期の工事発注率 86%	達成	建設課
6	イ 新潟中央環状道路の早期全線供用の推進	国道116号から8号区間について、2020年度完了を目指す	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う 年5回	・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 6回 ・調整会議実施	達成	建設課
		国道8号から49号の区間について、平成26年度に着手し早期整備の促進を図る	・西部地域土木事務所とともに事業説明会を随時開催する ・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う 年5回	・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 6回 ・事業説明会実施	達成	建設課
7	ウ 国道8号白根バイパスの暫定2車線の早期供用及び大野大橋以南の4車線化の促進	大野大橋以南の渋滞緩和のため、4車線化の早期実現に向け、地元と国との調整	国との進捗確認・今後の工事計画などを話し合う 年2回以上	・R1.10.18設計説明会 ・R2.3.23用地測量、物件調査自治会説明会 ・地元要望、進捗打合せ等 4回	達成	建設課
		8号白根バイパスの早期暫定2車線供用後の旧国道8号の道路空間利用形態を「にいがた南区創生会議」で検討	にいがた南区創生会議(まちなか活性化部会)6回開催し、旧国道8号の道路空間の利用を検討する	・まちなか活性化部会の会議を14回開催 ・官民連携まちづくり勉強会「寄せ」を3回実施	達成	建設課
8	エ 信濃川と中ノロ川に架かる老朽化が進行している橋りょうの長寿命化及び架け替えの検討、維持補修の実施	もぐり橋の架け替え、老朽化の著しい橋の架け替え	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う 年4回	・土木事務所との会議・打合せ 7回 ・高井橋R1.8.4供用開始	達成	建設課
		橋梁の安全確保に向けた補修・補強工事	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う 年4回	・土木事務所との会議・打合せ 4回 ・補修補強工事の情報共有	達成	建設課
9	オ 浸水対策の推進	ポンプ場及び雨水幹線整備の推進	雨水施設整備の進捗率 100%	雨水施設整備の進捗率 100%	達成	西部地域下水道事務所普及推進課 下水道推進室
		自助・共助対策の支援	雨水助成制度を広報紙に掲載する 年2回以上	雨水助成制度を広報紙に2回掲載	達成	西部地域下水道事務所普及推進課 下水道推進室
		幹線管渠の整備後は、市街地の管渠や側溝を整備し、浸水箇所を減少する	白根中心市街地の側溝整備を実施する 5箇所	側溝工事 5箇所	達成	建設課

(4) 区民の生活を守る意識づくりと対策の強化

交通事故数は、年々減少傾向にありますが、特に高齢者がかかわる事故の割合が増える傾向にあるため、その防止対策の強化を進めます。全国的に発生件数が増加している特殊詐欺被害の防止対策と防犯意識の向上に向けた対策を関係機関と連携して進めます。火災予防に関する啓発活動についても消防署・消防団と連携・協力して進めます。

事業番号	取り組み	取組内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
10	ア 交通安全対策の推進	高齢者交通安全の推進	・高齢者街頭広報 年2回実施 ・高齢者交通安全教室 12地区中3地区で実施	・高齢者街頭啓発広報 年4回 ・高齢者交通安全教室 年12地区中3地区で実施	達成	地域総務課
		子どもたちの交通安全意識の向上	・全小・中学校 年1回以上実施 ・幼稚園・保育園 全17園で実施	・全小・中学校 年1回以上実施 (大通・臼井小学校は年2回実施) ・幼稚園・保育園 全17園で実施 (あかね保育園は独自実施)	達成	地域総務課
		区民への交通安全の啓発	・各季交通安全運動 年4回 (シートベルト・チャイルドシート使用啓発含む) ・飲酒運転の根絶 年1回	・各季交通安全運動 年4回 ・飲酒運転の根絶 年1回	達成	地域総務課
		交通安全指導員の育成	交通安全指導員研修 年5回(延べ25人参加)	交通安全指導員研修 年7回(延べ29人参加)	達成	地域総務課
11	イ 防犯体制の強化と意識啓発の推進	関係機関・団体と連携した街頭啓発活動への取り組みと防犯ボランティアネットワークへの登録の推進	・街頭啓発 年13回以上実施 ・登録団体 8団体	・街頭啓発 年18回以上実施 ・登録団体 8団体	達成	地域総務課

(5) 空き家の適正管理に向けた仕組みづくり

人口の減少や流出により空き家が増え、中には管理が不十分なため環境や防犯上の問題が起きています。空き家が適正に管理され、さらに地域コミュニティ活性化のために空き家の利活用を促進します。

事業番号	取り組み	取組内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
12	ア 空き家の利活用の促進	地域との情報共有と空き家の利活用に向けた仕組みづくり	・自治会長・町内会長研修会で啓発 1回 ・空き家相談会の実施 2回 ・空き家の利活用に向けた仕組みづくり、地域との状況共有等	・自治会・町内会長研修会での啓発 1回実施 ・空き家相談会 1回実施(R1.9.8) (2回目:R2.3.8開催予定) 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】 ・区内の新潟県宅地建物取引業協会新潟支部南ブロック会員、全日本不動産協会南区区内会員計10社の賛同受け、いつでも相談できる体制を構築	未達成	区民生活課 地域総務課

(6) 快適な生活環境の形成と環境の保全

家庭から排出されるごみの減量及び資源の再使用・再生利用の取り組みを進めるほか、河川や田圃に囲まれた豊かな自然環境の保全に取り組みます。併せて、排水路などへの生活排水の流入による、悪臭や害虫の発生を防止するため、効率的に下水道や合併処理浄化槽など総合的な汚水処理施設の整備を推進します。また、処理区域内の下水道への接続を促進します。

事業番号	取り組み	取組内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
13	ア 家庭系ごみの減量	地域における啓発活動	・1人1日あたりのごみ排出量(直搬含む) 501g ・地域会合やイベント等での啓発活動 15回	・1人1日あたりのごみ排出量(直搬含む) 516g(速報値) ・地域会合やイベント等での啓発活動 15回	概ね達成	区民生活課
14	イ 河川環境の保全	汚染物質流入・不法投棄の防止	・灯油漏れ事故防止の区だよりの啓発広報 2回 ・不法投棄防止看板の配布	・灯油漏れ事故防止の区だよりの啓発広報 2回 ・不法投棄防止看板の配布	達成	区民生活課
15	ウ 下水道への接続の推進	各種助成制度の周知の強化	助成制度の内容を広報紙に掲載する 年2回以上	助成制度の内容を広報紙に6回掲載	達成	西部地下下水道事務所普及推進課 南下水道推進室
		水洗化率の向上・接続勧奨の強化	・休日、夜間の対応を含め効果的な勧奨方法の検討・実施 ・水洗化率 +1.5%	・休日の説明会により勧奨を行った 計2回 ・水洗化率 62.14%	達成	西部地下下水道事務所普及推進課 南下水道推進室

2 誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり

(1) ひととひとが支えあう地域づくり

地域で培われた人材資源や支えあう風土を活かし、その経験・知識を地域に役立てることにより、子どもと子育て世代、障がい者、高齢者など誰もが支えあうまちづくりを進めます。

事業番号	取り組み	取組内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
16	ア 誰もが地域で育て見守り、つながる仕組みづくり	地域による地域福祉計画の推進	・地域福祉計画の進行管理と年度評価による計画の推進 ・次期地域福祉計画の策定準備 ・推進委員会 年2回開催	・地域福祉計画の進行管理と年度評価による計画の推進 ・次期地域福祉計画の策定準備 ・推進委員会 年1回開催 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止】	概ね達成	健康福祉課

(2) 子どもを安心して産み育てられるまち

子どもを安心して産み育てるために、子育て中の保護者が不安感や孤独感を抱えずに子育てできる環境を整備するとともに、地域の人材や関係機関との連携を図りながら、地域全体で子育てを支えます。

事業番号	取り組み	取組内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
17	ア 子育て広場の充実	保護者の居場所の確保	子育て広場の開催 30回 子育て広場参加者の交流会開催 2回	子育て広場の開催 47回 子育て広場参加者・親子の絆づくりプログラム受講者の交流会開催 1回 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止】	概ね達成	健康福祉課
18	イ 子育て支援リーダーの育成・強化	子育て支援の人材育成	・子育て支援リーダースキルアップ研修 7回開催 ・子育て支援リーダーによる新たなリーダーの育成 1名増加(累計リーダー数 21名)	・子育て支援リーダースキルアップ研修 7回開催 ・子育て支援リーダーによる新たなリーダーの育成 増減なし(増1、減1)(累計リーダー数 20名)	概ね達成	健康福祉課
19	ウ 多様な保育ニーズに対応した子育て環境の整備	保育サービスの充実	0～1歳児の年度途中入園に対応するため、臨時保育士を募集し、3人確保する	0～1歳児の年度途中入園に対応するため、臨時保育士を募集し、3人確保	達成	健康福祉課
20	エ 子育て情報の発信	多様な媒体を活用して情報を発信する	・区だより、HPで子育て広場など、子育て情報を発信 月1回以上	・区だより、HPで子育て広場など、子育て情報を発信 月1回以上 ・子育て支援リーダーによるSNSを活用した情報発信	達成	健康福祉課
21	オ 子どもを見守る地域づくり	児童館、子育て支援センターや地域コミュニティ協議会などと連携し情報を共有することで、地域で子どもを見守る体制づくり	・児童館運営協議会の開催 年2回 ・コミュニティ協議会等と児童館の連携事業実施 各館 10回以上 ・ネットワーク強化に向けた支援センター会議開催 年3回 ・子育て支援センター会議開催 年3回	・児童館運営協議会の開催 各施設年2回 ・コミュニティ協議会等と児童館の連携事業実施 各館 10回以上 ・ネットワーク強化に向けた支援センター会議開催 年3回 ・子育て支援リーダーの活動報告会での意見交換 年1回	達成	健康福祉課

(3)障がいのある人もない人も快適に暮らせるまち

障がいのある人もない人も、安心して日常生活や社会生活を営むことができるよう、区民ひとりひとりが多様性を受け入れ、誰もが「共に生きる社会」を実感できるまちづくりを進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
22	ア 自立支援体制の整備	住み慣れた地域での在宅生活を促進するため、在宅福祉サービスの利用促進とサービス等利用計画の相談体制強化	福祉サービス制度の周知徹底、基幹相談支援センターの有効活用のため区だよりにて年1回掲載	福祉サービス制度の周知徹底、基幹相談支援センターの有効活用のため区だよりにて年1回掲載 ・研修会の開催 1回	達成	健康福祉課
23	イ 就労に向けた支援	障がい者農業体験を通じた就労に向けた機運の醸成 アグリパークや農業法人などとの連携により、生産や加工などの雇用に結びつくシステムづくり	施設外就労で農家との契約 8件	施設外就労で農家との契約 9件	達成	健康福祉課
24	ウ 障がいのある人も安全・快適に行動できる環境整備	ユニバーサルデザインに基づくバリアフリー化を推進	2つの障がい者施設の加工品販売の支援 販売店舗数 18店舗	2つの障がい者施設の加工品販売の支援 販売店舗数 19店舗	達成	健康福祉課
			県バリアフリーまちづくり事業に申請 1件	県バリアフリーまちづくり事業に申請 5件	達成	健康福祉課

(4)生活困窮者の支援

病気や事故などで働けなくなったり、離別や死別で収入がなくなるなど、何らかの原因によって生活に困っている人に対し、最低限度の生活を保障するとともに、早期に自立して生活できるように支援していきます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
25	ア 自立に向けた支援	区とハローワークによる一体的な就労支援の実施	就労支援を区で月4回	就労支援を区で月4回開催	達成	健康福祉課

(5)健康寿命の延伸

子どもから高齢者まで全ての区民が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう支援し、健康寿命の延伸を図ります。また、家庭や地域の中で笑顔があふれ、いきいきと自分らしく、こころ豊かに健やかな生活を送ることができると地域づくりを進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
26	ア 生活習慣病の予防	各種教室、相談会等保健事業の実施 健康情報の発信	・健康教育 120回以上 ・健康相談 45回以上	・健康教育 147回 ・健康相談 71回	達成	健康福祉課
27	イ 疾病の早期発見、早期治療	健(検)診受診勧奨 ハイリスク者向けの各種教室、相談会等保健事業の実施	・ミニドック型集団健診での特定健診受診者 400人 ・血管年齢測定者 1,800人	・ミニドック型集団健診での特定健診受診者 404人 ・血管年齢測定者 1,723人 【新型コロナウイルスの影響で3月の測定者が減少】	概ね達成	健康福祉課
28	ウ 地域ぐるみで健康づくりの推進	健康づくり講座を開催し、地域での健康づくり活動をする自主グループの増加 保健会組織と協働し、生活習慣病予防のための意識を啓発 地域で取り組む食生活の改善と運動習慣の普及	・糖尿病予防教室1コース開催(3回1コース) ・教室修了者のつどい、糖尿病予防公開講座 1回 食育の視点を入れた健康づくり講座の実施 5回	・糖尿病予防教室1コース開催(3回1コース) ・教室修了者のつどい 1回 ・糖尿病予防公開講座 1回実施 ・健康づくり講演会 1回400人 ・免疫力アップ講座(食育・運動含む) 1回23人 ・健康づくり講座(ウォーキング)の実施(1クール2回)延56人 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止】	概ね達成	健康福祉課
			・学習会の開催14地区 ・はかるう体重! あるこう南区! 大作戦の実施 達成者1,000人	・学習会の開催14地区 ・はかるう体重! あるこう南区! 大作戦の実施 達成者773人	概ね達成	健康福祉課
			食生活改善推進委員、運動普及推進委員研修会12回実施と地域活動支援	食生活改善推進委員・運動普及推進委員研修会11回実施と地域活動支援 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止】	概ね達成	健康福祉課

(6)高齢者が安心して暮らせるまち

住み慣れた家庭や地域で安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療・保健・介護・福祉の連携を強化し、在宅医療の支援体制を推進します。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
29	ア 高齢者の介護予防と社会参加	老人福祉センターの指定管理者による生きがい推進事業の実施支援 地域の茶の間の充実	各施設で自主事業実施 ・白寿荘 年45回 ・楽友荘 年2回 ・月寿荘 年2回	各施設で自主事業実施 ・白寿荘 年43回 ・楽友荘 年10回 ・月寿荘 年1回 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月は3回とも全日閉鎖しており、事業中止】	概ね達成	健康福祉課
30	イ 高齢者を地域で見守る仕組みづくり	高齢者を地域で見守り支援する意識醸成と仕組みづくり	・地域での「地域包括ケアシステム」説明会 45回 ・地域ボランティア育成研修会 2回	・地域での「地域包括ケアシステム」説明会 75回 ・地域ボランティア育成研修会 2回 ・「南区支え合いのしきみづくりフォーラム」 1回	達成	健康福祉課
31	ウ 在宅医療の支援体制の推進	在宅医療ネットワークグループとの協働	多職種連携研修会の開催 2回 (うち区民向け啓発講演会 1回)	多職種連携研修会の開催 2回 (うち区民向け啓発講演会 1回)	達成	健康福祉課

(7)生涯を通じた活躍の場づくり

健康で豊かな人生を送るため、生涯にわたり誰もが、いつでも学ぶことができる場を提供するとともに、スポーツ活動の支援を行い、いきいきと活躍できるまちづくりを進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
32	イ ひととまちを元気にする生涯スポーツ	体育施設の利用促進 健康づくりや世代間交流、地域間交流の推進 スポーツ人口の底辺の拡大	南区内体育施設等 利用者数 313,000人 ウォーキング大会の開催 参加申込者数 165人以上 フロアカーリング大会の開催 年2回参加申込者数 350人以上 白根ハーフマラソン大会の開催 参加申込者数 2,000人以上 少年少女親善スポーツ大会の開催 参加者数 410人以上	南区内体育施設等 利用者数 246,725人 【新型コロナウイルス感染拡大の影響あり】 ウォーキング大会の開催 参加申込者数 137人 フロアカーリング大会の開催 年2回参加申込者数 323人 白根ハーフマラソン大会の開催 参加申込者数 1,944人 少年少女親善スポーツ大会の開催 参加者数 431人	未達成	地域総務課
					概ね達成	地域総務課
					概ね達成	地域総務課
					達成	地域総務課

3 区民や地域が主役となるまちづくり

(1) 区民と行政の協働の推進

地域との情報共有を図りながら、区自治協議会、地域コミュニティ協議会などとの協働を深め、様々な地域課題の解決に取り組み、区民ひとりひとりが地域の中で主役となるまちづくりを進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
33	ア 地域コミュニティ活動の活性化	コミュニティ協議会等への支援	地域コミュニティ協議会の運営を支援 12コミ協	・運営費実績 17件(総額の73%) ・活動費実績 13件(# 27%)	達成	地域総務課
			地域コミュニティ協議会、自治会、NPO等の事業を支援 60事業	事業を支援 61事業 (コミ協 55件、自治会 3件、NPO等 3件)	達成	地域総務課
		地域活動の支援	コミュニティ・コーディネーター育成講座企画実施 4回	コミュニティ・コーディネーター育成講座企画実施 10回	達成	白根地区公民館
			コミュニティ協議会研修会の開催 1回	コミュニティ協議会研修会 2回開催 (指定管理者制度研修 2回)	達成	地域総務課
			自治会長研修会を開催 1回	自治会長研修会 1回開催	達成	地域総務課
		地域活動の情報の発信、交換、共有を図る	市HP等による情報発信 60回	市HP等による情報発信 81回発信	達成	地域総務課
ワーク・ライフ・バランスの推進	・区だより等による広報・啓発 2回 ・男女共同参画推進員と連携した企画事業の開催 2回	・区だよりによる広報 2回 ・市政情報モニターを活用した広報 2回 ・料理教室の開催 1回 ・講演会の開催 1回	達成	地域総務課 男女共同参画課		
34	イ 区民と行政の協働の推進	コミュニティ懇談会	コミュニティ懇談会 12コミ協で実施	コミュニティ懇談会 12コミ協で実施	達成	地域総務課
		地域おこし協力隊(みなみで地域応援隊)を活用した地域活性化への寄与	地域おこし協力隊活動を通じて地域活性化を推進する	・白根子行進曲復活プロジェクト 白根商工会を中心とした実行委員会に隊員が参画、地元団体や白根高校生、アーティストと共に約90年ぶりとなる仮装イベントを成功させた ・天昌堂公園の展開 白根旧市街で地域の茶の間を展開している天昌堂(旧店舗)において、多世代交流を目指し店舗改装や遊具を設置し子供連れ世帯に開放	達成	地域総務課 総務
		地域要望・課題について、「地域応援団」と各コミュニティ協議会との説明会・懇談会を開催	説明会・懇談会 12コミ協で各2回開催	「地域応援団」事業として12コミ協で説明会と懇談会を各2回開催	達成	建設課
35	ウ 区政情報の発信・共有	区役所だよりや、区のホームページなどを活用した効果的な情報発信	・南区公式PR Twitter フォロワー数 2,000件 ・報道への棚入れ件数 65件以上	・区公式PR Twitter フォロワー数 2,002件 ・区の年間棚入れ数 68件	達成	地域総務課
		区長の手紙などの広聴活動により区政運営に意見を反映	区長への手紙の簡易な案件は、受理後14日以内に差出人に回答	簡易な案件は14日以内で回答した(受理から回答まで平均13日)	達成	地域総務課

(2) 地域で支える教育活動の推進

少子化が急激に進んでいる今、地域と子どものつながりは、ますます重要なものとなっています。地域と学校が連携して学校教育活動の一層の充実を図るとともに、地域との様々な活動を結びネットワークづくりや共同事業などを推進し、郷土愛にあふれる子どもを地域社会全体で育てます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
36	ア 地域と学校の連携を支援	区内唯一の高校である県立白根高校にコーディネーターを配置し、学校と地域活動、社会教育施設や関係機関との調整役となり、円滑に地域活動への参加を進める	地域へのボランティア活動の実施 18回	白根高校生徒による地域へのボランティア活動等の実施 22回	達成	白根地区公民館

(3) 区民ニーズに応え、信頼される区役所づくり

区民のニーズにあった区政運営を進めるとともに、南区役所サービス憲章に沿った職員育成と資質の向上を図ります。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
37	ア 区ビジョンまちづくり計画と区政運営の着実な推進	区ビジョンまちづくり計画の進行管理	・第3次実施計画の進行管理と年度評価 ・第3次実施計画の策定	・第3次実施計画の進行管理と年度評価 ・H31年度評価実施	達成	地域総務課
38	イ 南区役所サービス憲章に沿った職員育成と資質の向上	区独自研修による職員資質の向上	区独自研修等の実施 年12回	区独自研修の実施 年12回	達成	地域総務課

II 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち

4 交通の利便性の高いまちづくり

(1) 便利で快適な公共交通体系の構築

バス交通の充実により、国道8号を基軸とし、都心や近隣地域へのアクセス機能や路線相互の乗換機能を高め、全ての利用者にとって利便性が高く、快適な公共交通体系をつくります。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
39	ア 公共交通体系の構築	区バス等の新規路線やバス事業者への区間移管などの検討	南区バス、乗合タクシー 利用者数合計 28,000人以上	南区バス、乗合タクシー 利用者合計 27,222人 ・区バス 25,382人 ・乗合タクシー 1,840人 【新型コロナウイルス感染症拡大の影響あり】	概ね達成	地域総務課
		住民バス運行支援	月湯住民バス 利用者数 2,350人以上	月湯住民バス 利用者数 2,068人 【新型コロナウイルス感染症拡大の影響あり】	概ね達成	地域総務課
		公共交通事業者、区民との連携・意見交換	公共交通事業者、区民との連携・意見交換5回実施	公共交通事業者、区民との連携・意見交換 19回	達成	地域総務課
40	イ 区内公共交通の利用環境整備と意識の向上	区内公共交通の方向性について民間等と意見交換	にいがた南区創生会議全体会、交通部会等への参画 40回	にいがた南区創生会議 50回 ・全体会 2回 ・交通部会 18回 ・正副会長部会長会議 30回	達成	地域総務課
		公共交通関連情報の発信	・区役所だより公共交通記事掲載 12回 ・出前講座の実施 12回実施	区役所だより(公共交通関連) 15回 出前講座の実施 11回	達成	地域総務課

(2) 早期点検補修による幹線道路と橋りょうの維持管理・整備促進

早期の点検補修により幹線道路と橋りょうの維持管理を実施し、その長寿命化を進め、地域の生活交通の確保、公共交通の利便性の向上を図ります。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
41	ア 幹線道路の適正な維持管理【再掲】	国道及び主要市道の日々の道路パトロールを実施し、補修・修繕を行う【再掲】	・通常パトロールを週4日実施 ・夜間パトロールを週1回実施 ・橋梁パトロールを年4回実施 ・歩道パトロールを年2回実施	・通常パトロールを週4日実施 ・夜間パトロールを週1回実施 ・橋梁パトロールを年4回実施 （市道各橋梁2回、国道各橋梁2回） ・歩道パトロールを年2回実施 （指定路線を2回に分け実施）	達成	建設課
42	イ 新潟中央環状道路の早期全線供用の推進【再掲】	国道116号から8号区間について、平成26年度完了を目指す【再掲】	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う 年5回	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 6回 調整会議実施	達成	建設課
		国道8号から49号の区間について、平成26年度に着手し早期整備の促進を図る【再掲】	西部地域土木事務所とともに事業説明会を随時開催する 西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う 年5回	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 6回 事業説明会実施	達成	建設課
43	ウ 国道8号白根バイパスの暫定2車線の早期供用及び大野大橋以南の4車線化の促進【再掲】	大野大橋以南の渋滞緩和のため、4車線化の早期実現に向け、地元と国との調整【再掲】	国との進捗確認・今後の工事計画などを話し合う 年2回以上	・R1.10.18設計説明会 ・R2.3.23用地測量、物件調査自治会説明会 ・地元要望、進捗打合せ等 4回	達成	建設課
		8号白根バイパスの早期暫定2車線供用後の旧国道8号の道路空間利用形態を「にいがた南区創生会議」で検討【再掲】	にいがた南区創生会議（まちなか活性化部会）6回開催し、旧国道8号の道路空間の利用を検討する	・まちなか活性化部会の会議を14回開催 ・官民連携まちづくり勉強会「奇合」を3回実施	達成	建設課
44	エ 信濃川と中ノロ川に架かる老朽化が進行している橋りょうの長寿命化及び架け替えの検討維持補修の実施【再掲】	もぐり橋の架け替え、老朽化の著しい橋の架け替え【再掲】	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う 年4回	土木事務所との会議・打合せ 7回 高井橋R1.8.4供用開始	達成	建設課
		橋梁の安全確保に向けた補修・補強工事【再掲】	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う 年4回	土木事務所との会議・打合せ 4回 補修補強工事の情報共有	達成	建設課

Ⅲ 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち

5 活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり

(1) 特産物の産地化・ブランド化の推進

安心・安全で低コストな米づくりを推進し、新潟米のブランドを維持します。また、「食と花の銘産品」の西洋なし「ルレクテ」、食用菊「かきのもと」、日本なし「新興」「新高」、ぶどう「巨峰」、いちご「越後姫」、しろねボーク、チューリップ、アザレア、ボケなどの一層のブランド化を進めるとともに、園芸作物の生産を拡大し、産地の維持・発展を図ります。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
45	ア 安心・安全で低コストな米づくりの推進	付加価値の高い売れる米づくり	コシヒカリ1等米比率 90%以上	コシヒカリ1等米比率 ・白根地区 38.0 % ・味方地区 3.7 % ・月潟地区 1.5 %	未達成	産業振興課
		多様なニーズに対応した生産	非主食用米作付面積 660ha以上	非主食用米作付面積 524.09 ha	未達成	産業振興課
46	イ 農畜産物のブランド化と生産・販路拡大	販売促進PR事業の実施 各種メディアの活用 ・農産物のイメージアップ	・南区観光協会Facebookでの農産物PR 20回 ・パブリシティ活用によるPR 10回	・南区観光協会Facebookでの農産物PR 21回 ・パブリシティ活用によるPR 17回	達成	産業振興課
		・ブランド品目の育成と輸出の促進 ・稲作農家への園芸作物導入 ・転作物の産地化・ブランド化	・支援事業の周知 ・地域特産作物作付面積 140ha以上	・再生協だより発行 ・地域特産作物作付面積 128 ha	概ね達成	産業振興課

(2) 資源循環、環境重視型の農業の推進

消費者に理解される環境にやさしい生産地を目指し、循環型農業の確立を図るため、資源循環事業を実施し、安心・安全な農業を確立します。また、農地の有する水源かん養や景観の保持、防災などの多面的機能の維持向上のため、農地の維持活動を通して、その環境保全を進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
48	ア 資源循環事業の実施	多面的機能支払交付金事業の推進	田んぼダム実施面積 3,400ha	田んぼダム実施面積 3,442.7ha	達成	産業振興課
50	ウ 農地維持活動、環境保全活動の支援	・環境保全地域活動の支援 ・生物多様性に配慮した生産活動 ・魅力的な農村景観の継承	環境保全活動取組面積率 90%以上	環境保全活動取組面積率 91.1%	達成	産業振興課

(3) 多様な担い手の育成

農地の有効利用や農業経営の効率化を進める担い手への農地集積を進めるため「人・農地プラン」を地域で推進し、水田の大規模経営化を図るとともに、園芸や畜産経営の高度化を進めるなど、多様な担い手を育成します。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
51	ア 「人・農地プラン」の推進と生産性の高い農業経営の確立	担い手への農地集積の促進	認定農業者への農地集積率 70%	認定農業者への農地集積率 67.22%	概ね達成	産業振興課
		・経営管理の合理化 ・法人化の促進	新規法人組織 1件	新規法人相談 1件	未達成	産業振興課
52	イ 新規就農者、青年就農者の育成、支援	新規就農者や青年就農者の相談の場の明確化とサポート	新規就農者数 15名	新規就農者数 14名 (就農 3名、就業 11名)	概ね達成	産業振興課
53	ウ 多様な担い手の育成	国家戦略特区の活用	候補事業者の選定件数 2件	候補事業者の選定件数 0件	未達成	産業振興課

(4)農商工連携の推進

豊富で良質・新鮮な農産物を活かして、農商工連携による6次産業化を推進し、付加価値の高い農産品の開発を進めるとともに、地域ビジネスの展開や新たな産業の創出、雇用の創出によって、地域全体の所得増大につなげ南区の活性化を図ります。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
55	ア 農商工連携による6次産業化	農商工連携による6次産業化の推進	南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品数 2品	南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品数 3品 ・ビエールエルメコラボメニュー(12月) ・ビエールエルメコラボメニュー(2月) ・夢味豚の生ハム	達成	産業振興課
		民間等と協働による新商品開発	民間等と協働により開発した新商品数 4品	民間等と協働により開発した新商品数 9品 ・ビエールエルメコラボメニュー 2品 ・白根子行進曲関連商品 5品 ・キャビネット(白根仏壇) 1品 ・夙っこ13人衆壁掛け時計 1品	達成	産業振興課
56	イ 農業活性化研究センター、食品加工センターとの連携	農業活性化研究センター、食品加工センターとの連携	相談件数 5件以上	食品加工支援センター相談件数223件(全区):1区当たり28件(各区ごとの件数の統計はなし)	達成	産業振興課

(5)互恵による都市・農村交流の推進

アグリパークと連携して農村・都市交流を進め、交流人口の拡大を図ります。また、農業・農村は農業生産活動による国土の保全、水源かん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的機能を有しており、生活や経済の安定に重要な役割を果たしていることを、交流を通じて都市住民の理解を広げます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
57	ア アグリパークとの連携による交流人口の拡大	アグリパークと観光農園、観光施設の連携促進	区内観光施設等との連携企画 5件	・アグリパーク宿泊者対象の観光農園特別優待券 10件 ・ネスバスにおける観光農園等と連携したPR 9月JA、8月・12月農園協会及びアグリパークでの南区観光パンフレット配布 ・はからう体重大作戦達成賞 アグリパーク内レストラン優待券 77件 ・クルーズツアー(11月:アグリパークでのスムーズーブくりや、農園でのルレクチェ摘み取り体験) ・フェイスブックでのアグリパーク事業紹介	達成	産業振興課
		観光イベント等でのアグリパークのPR	県外イベントなどでのPR活動 3回	渋谷フラワーフェスティバル(5月)、ふるさと渋谷フェスティバル(11月)、ネスバス物産展8月、ネスバス物産展9月、ネスバス物産展12月	達成	産業振興課
58	イ 農地維持活動、環境保全活動の支援【再掲】	・環境保全地域活動の支援 ・生物多様性に配慮した生産活動 ・魅力的な農村景観の継承【再掲】	環境保全活動 取組面積率 90%以上	環境保全活動取組面積率 91.1%	達成	産業振興課

Ⅲ 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち

6 いきいきと驚けるまちづくり

(1)産業活性化による雇用創出

各商工会などと連携し、経営全般についての相談に対する指導を活かすなど、既存企業の経営基盤強化を図るとともに、企業の進出状況や支援制度などの情報を広域的に提供することにより企業を誘致し、産業の活性化と、雇用の場の創出を図ります。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
59	ア ニューフードバレー構想の推進と企業立地の促進	食品加工・商品開発の支援	南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品数 2品	南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品数 3品 ・ビエールエルメコラボメニュー(12月) ・ビエールエルメコラボメニュー(2月) ・夢味豚の生ハム	達成	産業振興課
		企業誘致につながるPR等を実施	・南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品数 2品 ・各特色ある区づくり事業実施に係る新商品 お土産品等の展示・販売・PRの回数 10回	南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品数 3品 ・ビエールエルメコラボメニュー(12月) ・ビエールエルメコラボメニュー(2月) ・夢味豚の生ハム 各特色ある区づくり事業実施に係る新商品、お土産品等の展示・販売・PRの回数 24回	達成	産業振興課
60	イ 地域企業の連携促進	中小企業者の設備投資を支援	設備投資補助制度利用数 4件 制度融資の利用数 100件	・設備投資補助制度利用数 3件 ・制度融資の利用数 118件	達成	産業振興課
		管内企業が相互に連携できる環境づくりの支援	区内3商工会(白根・味方・月湯)及び白根経営振興協議会、各工業団地企業会との情報交換会等の実施、参加数 20回	区内3商工会(白根・味方・月湯)及び白根経営振興協議会、各工業団地企業会との情報交換会等の実施、参加数 27回	達成	産業振興課
61	ウ 伝統的な地場産業への支援	伝統的工芸品である白根仏壇と月湯鎌の支援	・マンガ教本「伝承のたくみ～白根仏壇が出来るまで～」の製作・配布 ・新商品及び白根仏壇PR 8回	・マンガ教本の製作 1,300部 ・新商品及び白根仏壇PR 8回	達成	産業振興課

(2) まちなかの活性化

人口減少や超高齢社会に対応し、にぎわいがあり、誰もが不便なく安心・安全に暮らせる持続可能なまちづくりを推進するために、まちなかの活性化を図ります。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
63	ア 拠点商業活性化推進事業計画(平成27年度～平成31年度)の実施	「利用しやすく、安心できる商店街」の実現のための取り組み	商業活性化事業の取組み支援 10件 計画最終年度 1日当たりの平均来店者数30%に向けた取り組み 計画最終年度 60歳以上の利用頻度週1回以上60%以上に向けた取り組み 計画最終年度 子育て世代の利用頻度週1回以上50%以上に向けた取り組み	商業活性化の取組み支援 6件(内、拠点商業地内3件)	未達成	産業振興課
		「人々が集う、にぎわいのある商店街」の実現のための取り組み	南区内の空き店舗及び空き家の新規活用件数 3件 商業活性化事業の取組み支援 10件 計画最終年度 商店街利用者の満足度とても満足・満足35%以上に向けた取り組み 計画最終年度 子育て世代の満足度とても満足・満足20%以上に向けた取り組み	南区内の空き店舗及び空き家の新規活用件数 5件 ・ゲストハウスグー ・Libe Bal(リベバル)※居酒屋 ・白根子行進曲関連 3件	達成	産業振興課
	「愛着と誇りを持って宝物のある商店街」の実現のための取り組み	歴史や文化・工芸にちなんだイベント数 2件	歴史や文化・工芸にちなんだイベント数 5件 ・町屋・仏壇・大風を巡るまちあるき ・タウンガイド空き家対策講演会 ・白根今昔写真物語 ・しろね祭りでの仏壇絵巻体験 ・仮装イベント「白根子行進曲」	達成	産業振興課	
		地域の宝物を利用した商品やサービス数 1回	地域の宝物を利用した商品やサービス数 4回 ・「南区食」食戦 ・お祭り広場「しろねまちなかミュージアム」 ・しろね祭り「でんぶ焼き」復活 ・白根子関連商品(5品)	達成	産業振興課	
64	イ 商店街への支援	まちなかカルチャースクールの実施	まちなかカルチャースクールの実施 2回	まちなかカルチャースクールの実施 2回 ・しろね祭り時の「仏壇絵巻体験教室」 ・タウンガイドによる「白根高校生まちなかの歴史・文化を学ぶまちあるき教室」	達成	産業振興課
		商店街マップの利用促進	まちあるきの開催 12回	まちあるきの開催 31回 ・白根 16回 ・新飯田 7回 ・月湯 8回	達成	産業振興課
		魅力ある商店街づくりを支援	商業活性化事業の取組み支援 10件	商業活性化の取組み支援 6件(内、拠点商業地内3件)	未達成	産業振興課

IV 大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクテエが突るまち

7 にぎわいと多様な交流のまちづくり

(1) 発信力の向上と交流人口の拡大

白根大風合戦、笹川邸(市所有唯一の国重要文化財旧笹川家住宅)、郷土芸能角兵衛獅子、そのほか地域固有の文化施設や伝統行事に「食」を組み合わせた観光プランなどを構築することにより、通過型観光から滞在型観光への転換を図り、交流人口の拡大につなげます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
65	ア 滞在型観光の定着に向けた観光プランの構築	誘客を目的とした旅行商品の造成、販売の促進	ツアー実施 1回	ツアー実施 1回	達成	産業振興課
		商店街マップの利用促進【再掲】	まちあるきの開催 12回	まちあるきの開催 31回 ・白根 16回 ・新飯田 7回 ・月湯 8回	達成	産業振興課
66	イ 各種イベントなどにおける誘客宣伝	首都圏や関西圏での物産展の開催と検証	首都圏での物産展等の開催 4回	渋谷フラワーフェスティバル(5月)、ふるさと渋谷フェスティバル(11月)、ネスバス物産展8月(観光農園協会、観光協会)、ネスバス物産展9月(JA、観光協会)ネスバス物産展12月(観光農園協会、観光協会)	達成	産業振興課
		県外観光キャラバンやメディアを活用した南区の観光資源の広告宣伝を展開	・サポーターミーティングなどのPR 1回 ・観光情報誌等による情報発信	サポーターズ・グランドミーティング参加(4月 東京) Komachi(風合戦)、ウォーカープラス(桜、風合戦) 東京事務所メールマガジン ほか	達成	産業振興課
67	ウ 南区観光情報の発信	南区の魅力や宝ものの情報発信を支援	ホームページ改修(アクセシビリティ向上) 1件	南区観光協会ホームページ全面リニューアル(スマホ対応によりアクセシビリティ向上)	達成	産業振興課
			南区観光協会Facebook フォロワー数 1,900件	南区観光協会Facebook フォロワー数 1,857件	概ね達成	産業振興課
		区役所だよりや、区のホームページなどを活用した効果的な情報発信【再掲】	・南区公式PR Twitterフォロワー数 2,000件 ・報道への掲載件数 65件以上	・区公式PRツイッターフォロワー数 2,002件 ・区の年間掲載件数 68件	達成	地域総務課

(2) 地域の宝ものみがきと次世代への継承

地域固有の文化施設や伝統行事などの魅力を向上させるとともに、保全と活用を図り、次世代へ継承します。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H31(2019)年度	H31(2019)年度実績		
68	ア 個性ある伝統文化を活かした地域づくり	地域伝統文化保存育成のための地域活動支援	・伝統文化等保護継承団体での活動者数 500人 ・伝統芸能フェスタ観覧者数 400人	・伝統文化等保護継承団体での活動者数 491人 ・伝統芸能フェスタ観覧者数 250人	概ね達成	地域総務課
69	イ 地域の宝ものの保全と活用	文化資源の知名度向上及び保全活用	文化施設年間入館者数 25,000人	文化施設年間入館者数 23,486人 ・しろね大風と歴史の館 17,348人 ・旧笹川家住宅 6,138人 【新型コロナウイルス感染症拡大の影響あり】	概ね達成	地域総務課